

■市長と語る会

◇開催結果

	第1回	第2回	第3回	第4回	
日時	11月4日(日) 10:00~12:02	11月4日(日) 14:00~15:50	11月5日(月) 14:00~16:00	11月7日(水) 19:00~21:00	
場所	野川地域センター	南部地域センター	エコルマホール	岩戸地域センター	
参加者	市民27人	市民14人	市民29人, 市外1人	市民38人	合計 109人

◇出された意見に対する市長の回答と対応方針

※基本計画の改定に係る部分のみ抜粋し、類似の質問は整理している。

No.	区分	内容	基本計画における対応
1	市民参加の手続き	意見 前期基本計画と比べ、策定プロセスに市民参加が少ない。十分な市民参加を経て作成された前期基本計画の計画期間を前倒して改定することは、市民の意見を軽視しているのではないかと。また、前期計画は審議会等で確認・審議していることから、今回の改定も審議会等への説明・諮問等が必要ではないかと。	今回の改定は、選挙公約を市の方針に落とし込むとともに、推進に向けた重点化を行うことが最大の目的であり、個別施策の内容は、前期基本計画を尊重して整理する。
		回答 市長と語る会のほか、素案の段階でパブリックコメントや説明会を実施するなど、一定の市民参加は行う予定である。また、今回の改定は前期基本計画を否定するものではなく、市長選挙の結果を踏まえた市政の推進に向けた重点化が最大の目的である。前期計画の良い部分は当然引き継いでいく。	
2	前期基本計画との関連	意見 前期基本計画を活かしながら後期基本計画を策定するということがあったが、前期基本計画と異なる部分分かる資料を作ってほしい。	計画の総論（位置付け・枠組み等）にて、後期基本計画の趣旨について盛り込んでいくとともに、主な変更点に関する情報は、素案とあわせて情報を提供していく。
		回答 計画がどのように変わるかということは明確に説明していくつもりである。	
3	市民参加・市民協働	意見 「市民参加・市民協働」は基本構想でも土台と位置付けられており、重点プロジェクトの一施策として位置付けられるものではない。	市民参加・市民協働は市政運営の基本となる手法・考え方であり、全ての施策の推進の土台である。 同様の性質をもつ行財政改革とあわせ、他の施策の土台として明確に位置付けていく。
		回答 「市民の参加と協働」については、すべての施策を進めて行くうえで、当然配慮していかなければならないものである。参加と協働をより推進していくという趣旨で②行財政改革推進プロジェクトに記載したが、書き方に配慮が足らなかったようにも思う。	

参考資料

4	水道局用地の整備	意見	水道局用地は、狛江市が「将来管理者」として指定を受けているために東京都が整備できない状態にあるといった問題があるが、現在その点はどのような状況にあるか。	①まちづくり推進プロジェクトに、水道局用地の有効活用について盛り込んでいる。
		回答	将来管理者は返上する。引き続き東京都と調整していく。	
5	水道道路の整備	意見	水道道路の整備と3・4・16号線の整備は、どのように進めていくのか。	①まちづくり推進プロジェクトに、水道道路の安全確保について盛り込んでいる。
		回答	それぞれ東京都と調整中である。	
		意見	整備を終えるのに、どの程度の財源を必要とするのか。	
		回答	狛江市の財政負担で行う事業ではなく、あくまでも東京都が実施する事業である。	
6	財政状況の公表	意見	市の財政の実態が知りたい。例えば、市の財政状況について市と市民が話し合える場の増設をお願いしたい。	②行財政改革推進プロジェクト（I-i 市民参加・市民協働）に、積極的な情報提供の推進について盛り込んでいく。
		回答	8月の広報こまめで財政状況の公表を行った。今後も市の財政等については、広報やHPなどを通じて積極的に公表していきたい。	
7	介護保険料・国民健康保険税	意見	「いたわりのあるまちづくりプロジェクト」を推進するにあたり、介護保険料や国民健康保険税が高くなってしまわないか。	②行財政改革推進プロジェクト（I-ii 行財政改革）に、徴収率の向上等による歳入確保・歳出削減を盛り込んでいるが、あわせて、V-v 保健・医療に、健康増進等を通じた医療費の抑制について盛り込んでいく。
		回答	税額等の検討にあたっては、行財政改革などに充分取り組んだうえで検討していきたい。	
8	市有地の売却	意見	畦畔や水路の売却を進めて、管理費の削減・税収増をお願いしたい。	②行財政改革推進プロジェクト（I-ii 行財政改革）に、市有地の売却について盛り込んでいく。
		回答	着実に進めて行けるよう検討していきたい。	
9	徴収強化	意見	市税滞納者を減らしていくべきである。	②行財政改革推進プロジェクト（I-ii 行財政改革）に、徴収率の向上に向けた取組みについて盛り込んでいる。
		回答	徴収強化は重要な項目である。	
10	保育園の民営化	意見	安定した保育環境を保つためには、公立保育園の民営化は進めるべきではない。個別の委員会などを立ち上げるなどして慎重に検討してほしい。	②行財政改革推進プロジェクトに盛り込んでいるとおり、保育サービスの充実と効率化の両面から、後期基本計画・定員適正化計画の策定作業とあわせて検討を進めていく。
		回答	多くの市民が民営保育園に関心を持っている現状がある。今後も慎重に検討していきたい。	

11	放射能対策	意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>放射能対策は、既存の定点観測に加え、対策を強化すべきである。</li> <li>特に子どもへの影響が心配で、子育て世代の意見をもっと聞いてほしい。</li> <li>学校や公園など子どもが集まる場所や学校給食の放射能測定を行ってほしい。</li> <li>国基準に沿った対策を行うのではなく、市独自の基準を定めてほしい</li> </ul>	③安心で安全なまちづくりプロジェクトに、放射能対策の実施として記載しているが、より細やかな測定の実施について盛り込んでいく。
		回答	現在、国のガイドラインに沿って測定等を行っているが、よりきめ細やかな測定ができるよう検討していきたい。	
12	生活道路の修繕	意見	市内の生活道路の危険個所を総点検してほしい。	③安心で安全なまちづくりプロジェクトに、道路修繕の計画的推進として盛り込んでいる。
		回答	道路の修繕は、全体の状況を把握して取り組んでいきたいと考えている。	
13	定年退職者の活用	意見	定年退職者の活用場所を増やすべきである。	⑤いたわりのあるまちづくりプロジェクトに、高齢者が地域や行政で活発に活動できる環境づくりについて盛り込んでいる。
		回答	今後の検討課題として知恵を出していきたい。	
14	こまバス	意見	こまバスは、経路や停留所の位置、利用料金等で不親切な部分が多く見られる。必要箇所の見直しをお願いしたい。	⑤いたわりのあるまちづくりプロジェクトに、こまバスをはじめとした公共交通機関の利用促進の検討について盛り込んでいる。
		回答	この度補正予算にて利用実態に関するアンケートを行うこととなった。結果を踏まえて、見直すべきところは見直していきたい。	
15	自転車の交通マナー	意見	危険な運転の自転車を見ることが多い。自転車の交通マナーの啓発をお願いしたい。	Ⅱ-ii 交通に、交通安全マナーの向上について盛り込んでいく。
		回答	調布警察とも連携しながら進めていきたい。	
16	商工業の育成	意見	子どもの安全確保の観点からも、商店街の活性化をお願いしたい。	Ⅲ-iii 地域振興に、空き店舗の活用について盛り込んでいく。
		回答	空き店舗の活用なども含め検討していきたい。	
17	情報教育と情報モラル	意見	情報教育の推進には賛成するが、あわせて情報機器の使用の際のモラルの教育・啓発が必要である。	Ⅳ-iii 学校教育に、情報モラルに関する指導について盛り込んでいく。
		回答	情報教育やそれに伴うモラルについては重要な課題であると考えている。教育部局にも検討をお願いしていきたい。	